

(1)山陽電鉄藤江駅周辺地区の基本構 想(案)について

①事業者との調整結果について

②藤江地区の基本構想(案)について

①事業者との調整結果について

主な意見の概要

特定事業に位置づけたいもの

【山陽電車藤江駅のバリアフリー化】

- ・トイレをバリアフリー化してほしい
- ・券売機の位置が高い(車イス利用者)、足元にクリアランスがない
- ・トイレ前の段差を改修してほしい
- ・構内に階段があり、車イス・ベビーカーが利用しづらい
- ・視覚障害者にとって券売機のタッチパネルは利用できない

→特定事業に位置付けます

【踏切】

- ・歩行者通路が狭いので拡幅してほしい

→特定事業に位置付けます

【駅南バスロータリー】

- ・バスロータリーを整備してほしい
- ・人と車の流れを考えて整備してほしい

→特定事業に位置付けます

【市道藤江33号線】

- ・円形交差点より北側の歩道巻き込み部分の段差解消

→特定事業に位置付けます



駅トイレ前



駅トイレ



券売機



駅構内の階段



踏切



駅南バスロータリー

主な意見の概要

特定事業に位置づけたいもの

【県道718号線】

- ・段差が多いのでフラットな歩道にしてほしい
- ・歩道の幅が狭い、一定ではない
- ・点字ブロックが無い

→特定事業に位置付けます

- ・歩道の溝蓋の穴に白杖がはいる
 - ・歩道がガタガタで歩きづらい
- 特定事業に位置付けます(優先度の高い順)

- ・草木が飛び出てあるきにくい
- ・特定事業に位置付けます(一部法面のコンクリート化)

※草刈り、剪定依頼等日常維持管理部分については施設管理者に伝えます



市道巻き込み部



県道段差



県道狭隘



県道溝蓋



県道舗装



県道法面

主な意見の概要

施設管理者に伝え、随時対応してほしいもの

【山陽電車藤江駅】

- ・テンキー「*」を押すと音声案内が流れるのがわからない
→音声案内開始のスイッチを音声案内するのは困難。
視覚障害者団体等に利用方法を周知していく
- ・インターホンに縦のアプローチで届かない
→施設管理者に伝え、検討していく
- ・構内踏切は車輪の小さいベビーカーは危険である
→南改札口設置により下りホームへの構内踏切は撤去予定
- ・駅を高架にしてほしい
→高架化工事は多額の費用が必要で、実施は困難

【駅南バスロータリー】

- 介護車両が止められるスペースが欲しい
→ロータリーの空間的にバス以外の車両の停車場所は確保できない

【県道718号線】

- ・ガードレールがない所があり、危険である
→歩道や車道の幅員が確保できない箇所を除き、
交通安全上、必要な箇所に設置していく
- ・藤江小学校前の交差点に音声案内がない
→信号機の設置・運用変更等の可否を検討するため
には、地元自治会や団体の総意としての要望書の提出をいただき、
具体的ニーズや実績に基づく必要性を判断します。



インターホン



県道藤江小前



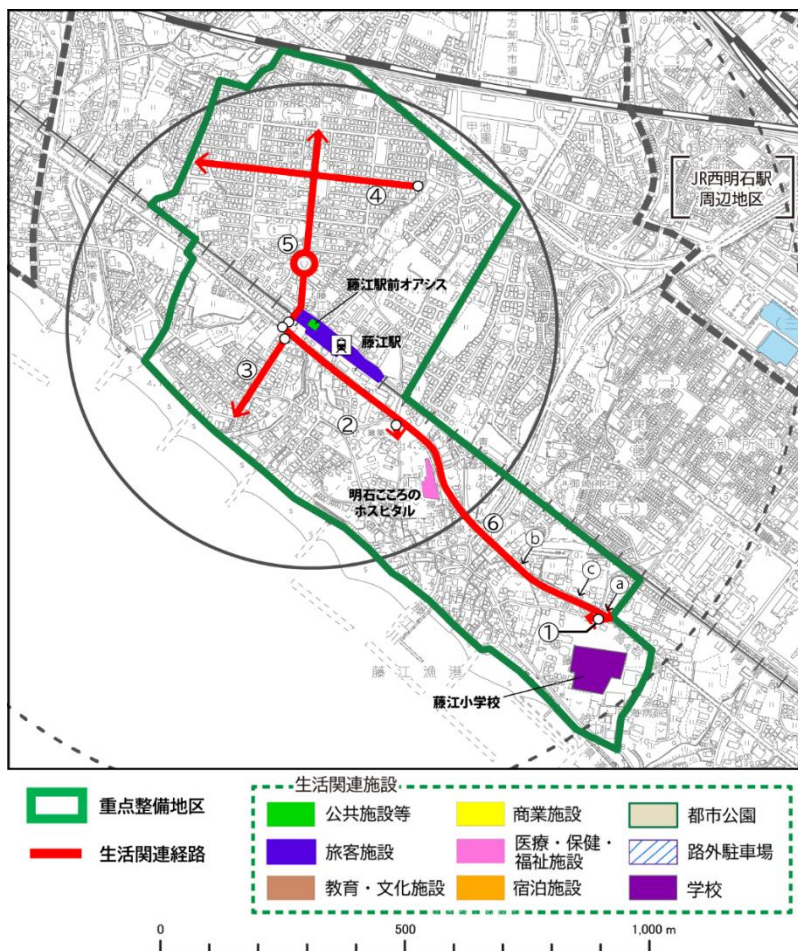
券売機



県道

②山陽電鉄藤江駅周辺地区の基本構想(案)について

重点整備地区



特定事業

(短期)5年以内に実施
(中期)5年～10年以内に実施
(長期)10年以降又は未定

■公共交通特定事業

実施者:山陽電気鉄道

(短期)トイレの改修(バリアフリー化)
駅舎の改修(券売機周辺のバリアフリー化)
(構内の段差解消)

■道路特定事業

実施者:明石市

(短期)踏切の歩行者通路拡幅、駅前バスロータリー改修、歩道の巻き込み部分の段差解消(駅北円形交差点北)

実施者:兵庫県

(短期)誘導ブロックの設置、側溝の蓋の改修、横断歩道部分の舗装補修

(中・長期)歩道の拡幅、新設、段差解消については、ひょうごインフラ整備プログラムに基づき進めていく。

■その他の事業

前ページの特定事業に位置付けない施設のバリアフリー化やまちあるきの意見への対応についても、随時情報交換を行いながら、面的なバリアフリー化を進めていく。